

国天然記念物指定

100周年  
記念シンポジウム

い づ み

か つ ら ぎ さ ん

り ん

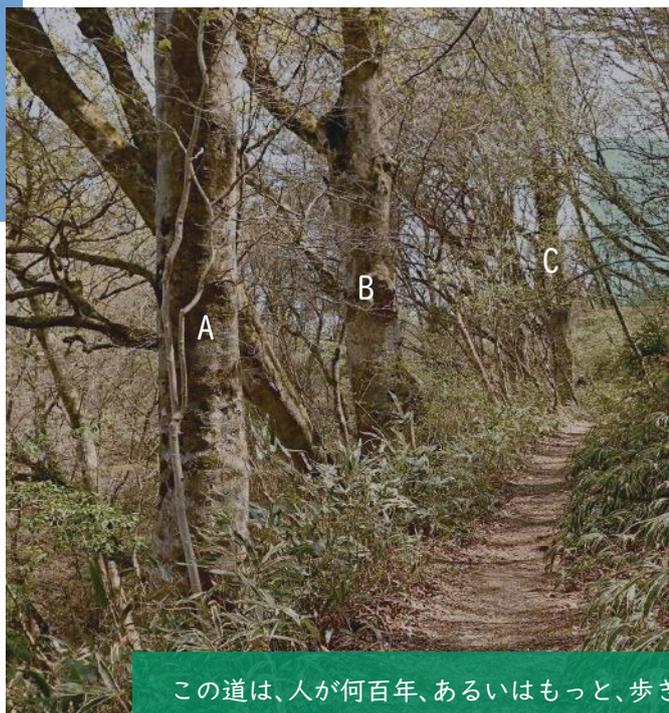
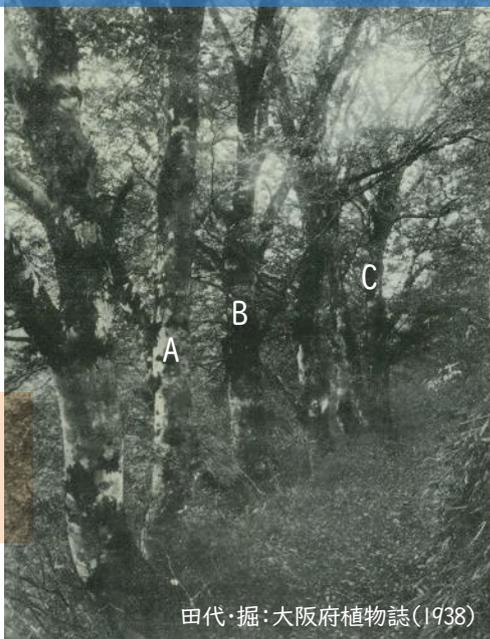
# 和泉葛城山ブナ林

これまでの100年 これからの100年

「和泉葛城山ブナ林」は、太平洋側の、標高800メートル前後の比較的高度の低い位置に分布しており、ブナ分布の南限圏に近い場所でこのようなブナ林が存続することに大きな価値があるとして、1923(大正12)年に国の天然記念物に指定され、2023年3月に指定100周年を迎えました。

これまでの100年間におけるブナ林の変遷、保全活動の経過などを振り返り、これからのブナ林や自然環境保全のあり方を考え、100年後に向けた展望を共有することを目的にシンポジウムを開催します。

ブナ林の中を通る道の、85年前と現在の写真です。  
枯死したブナもありますが、何本かは今も健在です。  
これらは樹齢約300年、徳川吉宗が将軍になったころに  
誕生した木々と推定されます。  
道の姿が変わっていないことに驚かされます。



この道は、人が何百年、あるいはもっと、歩き続けた道です。その道の傍らの、ふとした好適地に落ちたブナの実が、発芽し、定着して大きくなり、歩く人を、また見守り続けてきたのでしょう。

2023年  
8月26日

土 12:00開場／  
13:00～16:00

会場：大阪市立自然史博物館 講堂

参加費 無料※

当日受付／定員170名(先着順)

※ただし、自然史博物館の入館料(大人300円・高校・大学生200円)が必要です。

サテライト会場：きしわだ自然資料館 1階多目的ホール

※入場無料 ※YouTube同時配信を上映します。

YouTube  
同時配信

「大阪市立自然史博物館」チャンネル  
(<https://www.youtube.com/c/大阪市立自然史博物館/>)  
にアクセスして表題の番組をクリックしてご覧ください。



※開催後は、大阪みどりのトラスト協会のYouTubeチャンネルでも公開予定

主催：岸和田市教育委員会、貝塚市教育委員会、(公財)大阪みどりのトラスト協会

指導・助言：和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会

後援：大阪府、貝塚市、岸和田市

協力：(認定特非)大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館、大阪生物多様性保全ネットワーク、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、貝塚市立自然遊学館、関西自然保護機構、きしわだ自然資料館、日本野鳥の会大阪支部、(認定特非)緑の地球ネットワーク(50音順)

基調講演 1

天然記念物ってなに？—天然記念物の保護の意味—

田中 厚志 / 文化庁文化財調査官

誰もが一度は聞いたことのある「天然記念物」。動物や自然を保護する制度ですが、希少種保護や国立公園などどう違うのでしょうか？意外と知らない仕組みや意義、最近の指定について紹介します。



基調講演 2

ブナ林に迫る危機と協働による保全

石原 正恵 / 京都大学准教授

広島(太平洋側)と芦生(京都府北部)のブナ林の状況に関する共同研究の成果を中心に、気候変動やシカ害に直面するブナ林について紹介し、どのように保全を進めればいいのか、について話題提供します。



パネルディスカッション

和泉葛城山ブナ林 これまでの100年 これからの100年

- 〈パネリスト〉 田中 厚志 / 文化庁文化財調査官、石原 正恵 / 京都大学准教授  
 高原 光 / 京都府立大学名誉教授、田中 正視 / 貝塚市文化財保護審議会委員  
 土井 雄一 / 和泉葛城山ブナ愛樹クラブ代表  
 幸田 良介 / (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

〈コーディネータ〉 佐久間 大輔 / 大阪市立自然史博物館学芸課長

100年の間に人の暮らしは変化し、そしてそれは自然にも様々に影響してきました。みなさんと一緒に今の和泉葛城をみつめ、100年後も和泉葛城の山を愛し、楽しみ、守っていくために必要なことは何か、改めて考えてみたいと思います。



和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会

国の天然記念物に指定されてからも、周囲の森林の伐採、林道の開設、ハイキング道の拡張、キャンプ場の利用など、ブナ林をとりまく環境は大きく変化し、昭和後期には、登山者・観光客が増加し、利用状況の悪化が見られました。さらに、林内の乾燥化や、大木の枯死が増加する一方で若木が育たないことなどから、ブナ林は危機的な状態であると考えられました。

これに対応するため、昭和63(1988)年度、文化庁、大阪府、地元の貝塚市、岸和田市は、学識経験者、行政、地元教育委員会などからなる「国指定天然記念物と泉葛城山ブナ林保護増殖調査委員会」(平成5(1993)年7月～「和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会」)を組織し、今日に至っています。

現在、「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画(令和3年度～令和12年度)」をもとに、シンポジウムや自然観察ハイキングを開催してブナ林の魅力を知ってもらう活動、ブナの開花・結実調査、林内気象の計測、ナラ枯れへの対応、哺乳類調査、ブナ若木の育成等を実施しています。

※ 保全活動についてや委員会活動の状況等は(公財)大阪みどりのトラスト協会HPをご参照ください。

会場ご案内

大阪市立自然史博物館 講堂

(大阪市東住吉区长居公園1-23)

- ・地下鉄御堂筋線「長居(ながい)」駅  
南改札口3号出口から東へ約800m
- ・JR阪和線「長居」駅 東出口から東へ約1km
- ・近鉄南大阪線「矢田」駅 西へ約1.8km



YouTube同時配信を  
上映します!

【サテライト会場】  
きしわだ自然資料館  
1階多目的ホール

- (岸和田市堺町6-5)  
 ・南海本線「岸和田」駅  
南出口から約800m  
(徒歩約12分)

TEL: 072-423-8100



お問合せ

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会 ホームページ: <https://www.ogtrust.jp/>  
 TEL: 06-6614-6688 FAX: 06-6614-6689 Mail: [midori@ogtrust.jp](mailto:midori@ogtrust.jp)

